

# 身近なIT学ぶ

## 静岡小学生がエンジニア体験

静岡大と富士市のソフトウェア開発販売業「建設システム」は27日、小学5、6年生を対象に情報技術に親しむイベント「未来のITエンジニア育成ワークショップ」を静岡市駿河区の同大で開いた。親子30組が参加し、身近な情報技術やシステムエンジニアの仕事を学んだ。

親子は同大教育学部の塩田真吾准教授の指導で、テレビなどに使われる液晶の仕組みについて理解を深めた。2枚の偏光フィルターを重ね合わせ、光の通り方によって変化する見え方の違いを確かめ

た。IoT（モノのインターネット）についても学び、自動販売機や冷蔵庫がインターネット

のような情報が得られるかを考えた。

同社のシステムエン



偏光フィルターを重ねて見え方の違いを確認する親子＝静岡市駿河区の静岡大

ジニアが、仕事内容や求められる資質をクイズ形式で紹介した。イベントは、塩田准教授と同社が共同開発した小中学生向けの情報通信技術（ICT）オンライン教材「エンサップ」の提供開始を記念して開かれた。